

令和8年度 第1回 向日市いじめ防止対策推進委員会

1 日 時

令和8年7月23日（木）午後1時30分から午後3時15分まで

2 場 所

乙訓総合庁舎1階 第2会議室

3 出席者

中川委員長 大学教授
草野委員 医師
北口委員 臨床心理士
荒井委員 臨床心理士

4 内 容

(1) 令和7年度のいじめ調査の結果の概要について（資料をもとに説明）

① 年間のいじめ調査の結果

- ・認知件数 小学校 1033 件 中学校 180 件 小中合計 1,213 件
- ・未解消件数 小学校 59 件 中学校 45 件 小中合計 104 件
- ・解消件数 小学校 974 件 中学校 135 件 小中合計 1,109 件

② 令和6年度との比較

- ・認知件数 小学校 79 件減 中学校 34 件減 小中合計 113 件減
- ・未解消件数 小学校 28 件減 中学校 9 件増 小中合計 19 件減
- ・解消件数 小学校 51 件減 中学校 43 件減 小中合計 94 件減

③ 認知件数の経年比較

- ・令和7年度微減となったが、概ね横ばい傾向が続いている。

④ 学年別認知件数および態様の傾向

- ・小学校では学年が上がるにつれて認知件数は減少傾向が見られる。
- ・SNS（LINE、Instagram 等）での不適切な書き込みに関する相談件数が増加傾向にある。

(2) 質 疑

（委 員）令和6年度に2年生での認知件数が多かった学年について、令和7年度の3年生時には減少している。学級が落ち着いてきた結果がグラフにも端的に表れていると伺えるが、どのような取組があったのか教育委員会で把握しているか。

（事務局）各学校における具体的な取組までは把握していないが、学年進行に伴う担任の配置や、影響し合う児童生徒を離れたことなどが影響していると考えられる。

（委 員）担任の配置や学級編成をどうするか考え、配慮されたことが好影響を与えた部分があるのではないか。

(委 員) いじめの態様に関するアンケート調査について、どのように項目を示しているか。

(事務局) 京都府のアンケート調査で用いられている項目文言を記載して実施している。

(委 員) 「ひぼう」や「中傷」など児童には難しい語句が含まれているが、児童は十分に理解できているか。

(事務局) 低学年児童に対しては、アンケートを実施する際に担任教員が言葉の意味をわかりやすく説明して伝えるなどの配慮を行っている。

(委 員) そのほかに、質問や意見はあるか。

(委 員) 特になし。